

## 第3章 目指すべき環境都市像と基本目標

### 1. 目指すべき環境都市像

環境都市像は、様々な主体の協働によって、都市の営みを支え、人々の暮らしに豊かさやうるおいを与えてくれる、持続可能な環境が将来にわたって維持されていく姿を表現するものです。

本計画では、2030年度までに実現を目指す新たな環境都市像を掲げます。

#### 目指すべき環境都市像

### みんなが主役 文化とともに発展するエコシティ としま

豊島区は、区政の最上位計画にあたる「豊島区基本計画」における、目指す都市像として「国際アート・カルチャー都市」を掲げ、区を象徴する豊かな文化的側面に着目した持続発展都市づくりに取り組んでいます。この中で、環境政策は文化政策等とともに、成長戦略（価値あるまちづくりの進展を促す都市づくりのエンジン）として位置づけられています。

⇒ 環境と文化の取組みとの間に生まれる相乗効果（⇒21 ページ参照）を念頭に、「文化とともに高め合う環境都市」を目指します。

区の環境施策に関する国際的背景はますます拡大しており、地球規模での気候変動対策やSDGs等について、国際社会の一員として対応を進める必要があります。こうした中、区は2019年「東アジア文化都市」の国内都市に選定されたことで、今後、世界との交流の機会が一層拡大します。

⇒ 「国際的な課題にチャレンジする環境都市（＝エコシティ）」を目指します。

安心して暮らせる豊かでうるおいのある地域環境の形成においては、区の取組みだけでなく、区民や事業者など区に集うすべての人（＝みんな）による主体的な参画と協働が基本となります。

⇒ 「みんなが主役の住みたくなる、訪れたくなる環境都市」を目指します。

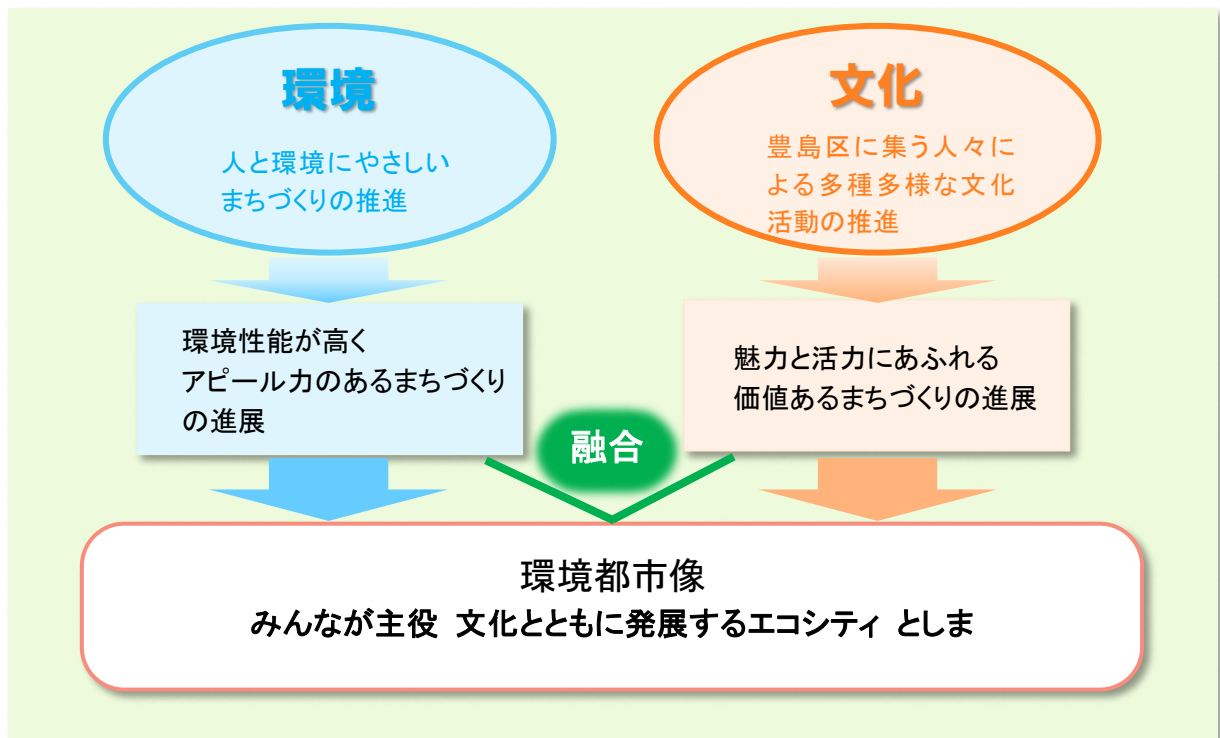
### 環境と文化

豊島区は、国際アート・カルチャー都市として、伝統から最先端、ハイカルチャーからサブカルチャーまで、芸術・文化の多様性を区独自の文化資源として活かし、世界中の人にとって魅力あるまちの創造を進めています。

#### <環境と文化の関係>

- 国際アート・カルチャー都市としてのまちづくりと同時に、みどり豊かな公共施設や公共空間を整備し、再生可能エネルギーの利用を進めるなど、人と環境にやさしいまちをつくることで都市の価値やイメージが向上し、環境と文化が相互に高め合う持続可能なまちの形成が促進され、相乗効果も期待されます。
- 環境と文化がお互いを原動力として発展していくまちにおいては、多様な文化的バックグラウンドを持つ区民、世界中からの来訪者など、様々な主体が安全・安心・快適に過ごしながら、文化・芸術活動に参加し楽しむことができる、良好な環境が形成され、そこで活動する人々の活力のもととなります。
- 環境に配慮したまちで活動する人々の間では、ものや自然、生きものなどを大切にする精神が育まれ、外国人居住者や来訪者などにも、環境を大切にするところが区の文化の1つとして広がっていくことが期待できます。また、例えばマンガによる区の環境情報発信など、文化活動が良好な環境づくりに貢献していくといった効果も期待できます。

このように、国際アート・カルチャー都市としての魅力や活力の創造と環境に配慮したまちづくりを同時に進めていくことで、環境と文化が互いを向上させ、豊かであるおいがあり、魅力と活力にあふれる、「みんなが主役 文化とともに発展するエコシティ としま」の実現へとつながっていきます。

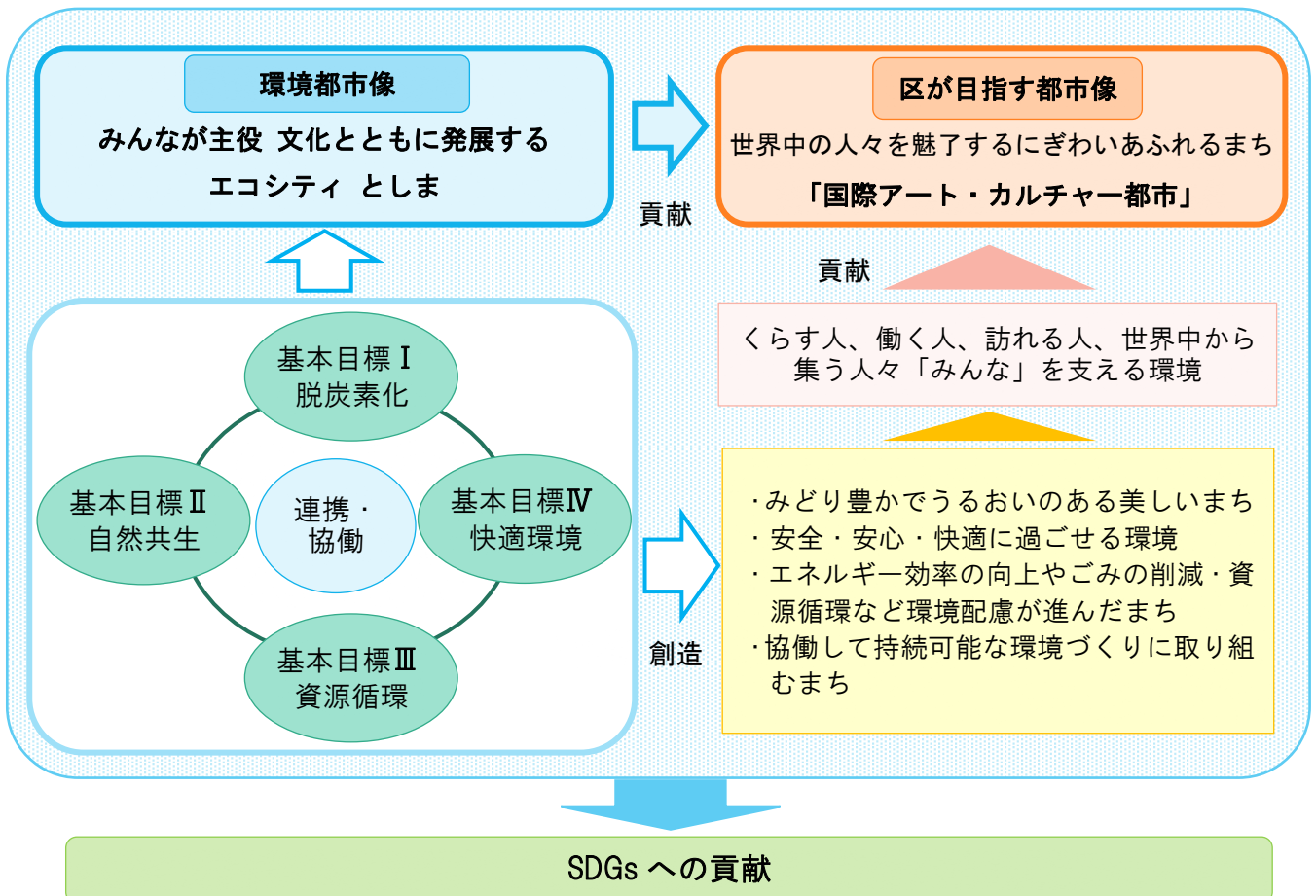


## 2. 基本目標

環境都市像を実現していくための柱として、環境分野別の4つの基本目標（Ⅰ脱炭素化、Ⅱ自然共生、Ⅲ資源循環、Ⅳ快適環境）と分野横断の柱（連携・協働）を加えた計5つの柱を掲げます。

柱	基本目標
基本目標Ⅰ	気候変動に対応し、脱炭素化に向けた取組みを進めるまち
基本目標Ⅱ	みどりや生きものの豊かさを育み、人と自然がつながるまち
基本目標Ⅲ	ごみを出さないくらしと資源の循環に協働して取り組むまち
基本目標Ⅳ	すべての人が安全・安心・快適な環境の中でくらし活動できるまち
連携・協働	持続可能な環境づくりのために行動する人の輪を広げるまち

- 各基本目標の目指す姿の具現化に向けて取り組むことにより、環境都市像を実現し、同時に区が目指す都市像（国際アート・カルチャー都市）の実現に環境の側面から寄与するものとします。
- 豊島区の環境施策は、SDGsの目標との整合を取りながら展開するものとし、区の環境都市像の実現によって、SDGsの環境に関連するターゲットの達成に貢献し、世界における環境課題の改善に寄与していくことを原則とします。



**基本目標Ⅰ 気候変動に対応し、脱炭素化に向けた取組みを進めるまち****目指す姿**

区民や事業者が日常における身近な省エネ対策や環境配慮型設備の導入に取り組み、生活や事業活動の低炭素化が進んでいます。

再生可能エネルギーのさらなる導入、交通システムの低炭素化、環境性能の高い建築物の積極的な導入、エネルギーの面的利用などの促進によってまち全体のエネルギー効率が高まり、脱炭素社会へ近づいています。先進的なエネルギー技術がまちに溢れることで、まちのイメージ向上につながっています。

暑熱環境対策や極端な気象現象による都市型水害等の災害への対策など、気候変動による影響への対応と災害リスクの削減や早期回復のための備えが進んだまちが形成されています。

**基本目標Ⅱ みどりや生きものの豊かさを育み、人と自然がつながるまち****目指す姿**

学校などのビオトープや、生態系に配慮した公園づくりなどにより、生物多様性の保全に取り組んでいます。

公園や公共施設などにおけるみどりの保全と育成や、民有地についてのみどりの条例等に基づく指導を行うとともに、保護樹木・樹林の指定や緑化に対する助成等の支援、緑化を推進することにより、人と自然の共生が進んでいます。

みどりや生きものに囲まれた自然豊かな環境が形成されることで、豊島区に暮らし、働き、集う人々が身近な自然から四季を感じることができ、都市の営みにゆとりやうるおい、文化的な価値が生まれています。

**基本目標Ⅲ ごみを出さない暮らしと資源の循環に協働して取り組むまち****目指す姿**

豊島区で暮らし、働き、国内外から集う様々な文化的背景を持つすべての人が主体的にごみの減量に取り組むとともに、区民・事業者・区の連携によるリデュース・リユースの仕組みづくりなどにより、発生抑制と再使用が優先的に進められています。

資源とごみの分別が徹底されるとともに、資源を無駄なく循環する質の高いリサイクルの仕組みが構築され、排出されたごみは安定的に適正に処理されています。

捨てることをもったいないと思うところ、ものを大切にすることを、区に暮らし、働き、集う人々が共有し、循環型の暮らしが区の文化として定着しています。

**基本目標Ⅳ すべての人が安全・安心・快適な環境の中で暮らし活動できるまち****目指す姿**

人口密度が高く交流人口の多い都市に特有の大気汚染・騒音・振動・悪臭などの公害が防止され、良好な生活環境が確保されています。また、ポイ捨てなどのマナーの改善が図られまちの美化が進んでいます。

良好で美しい生活環境基盤が形成されることで、豊島区に暮らし、働き、国内外から集う人々が快適で健やかなくらしをおくり、文化・芸術に満ちたまちの風格が育まれています。

## 連携・協働 持続可能な環境づくりのために行動する人の輪を広げるまち

### 目指す姿

一人ひとりが環境の課題を自らの課題として捉え、自分にできることを考えて行動できるようにするための環境教育・環境学習が定着しています。

地域における持続可能な環境づくりを担う人が育ち、活躍しています。

様々な主体が連携して環境活動に取り組むための基盤が構築され、区民、事業者、民間団体、行政などが相互に連携して環境活動や環境に配慮したまちづくりへ参画する手段や機会の幅が広がっています。

区内における環境への理解や思いやりの行動そのものが、区が誇る豊かな文化の一つとして定着し、持続可能な環境づくりを担う人の輪が広がり続けています。



